

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 25 日

評価対象事業		評価者	交通計画課長	宮崎 隆
まち-06 交通体系整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課	交通計画課
総合計画上の位置付け		分野	総合交通	
		施策の方針	道路・交通体系の検討	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。
効果	公共交通機関における利便性の向上を図るとともに、慢性化する交通渋滞の解消や交通事故の減少を図る。

2 平成26年度に実施した事業の概要

鎌倉地域の休日の交通渋滞を解消するために、市民・交通事業者・関係行政機関等で構成する「鎌倉市交通計画検討委員会」を開催し、市と地域住民・関係機関との協働による安全で快適な歩行環境の実現をめざすとともに、策定後経年した地区交通計画を検証した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度当初予算	データ区分	26年度決算	備考
人口	177,243人	人口	177,464人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
世帯数	80,676世帯	世帯数	80,368世帯	
事業の対象者数		事業の対象者数		
当初予算(千円)	13,865	決算値(千円)	14,971	
国県支出金		国県支出金		
地方債		地方債		
その他		その他		
一般財源	13,865	一般財源	14,971	
人員配置数	2.4	人員配置数	2.3	
人件費(千円)	18,338	人件費(千円)	17,415	
総事業費(千円)	32,203	総事業費(千円)	32,386	
市民1人当りの経費(円)	182	市民1人当りの経費(円)	182	
対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	・休日の鎌倉地域では、目に見えて交通渋滞が解消されていないため、市民意識にその効果が現れていない状況である。 ・「鎌倉市交通計画検討委員会」で、平成25年度から検討を始めた自動車交通の抑制策は、事業者等を含めた市民の合意形成や法令等の整備、課金方法、実施に伴う費用、近隣市との調整など様々な課題がある。		
課題解決のために行った平成26年度の取組	・鎌倉地域の交通渋滞の解消に向け、「鎌倉市交通計画検討委員会」を3回、同委員会専門部会を6回開催し、自動車交通の抑制策(ロードプライシング)について、課金の対象や用途について一定の方向性を確認した。あわせて、「鎌倉地域の地区交通計画策定に向けた中間とりまとめ」を行った。また、法的な課題や課金方法等を検討する特別委員会を設置するため、鎌倉市交通計画検討委員会条例の一部を改正するとともに、特別委員会の準備会を開催し、委員構成やスケジュール等について議論した。 ・平成26年5月に公共交通への転換を促すための新規循環バスの社会実験を実施した。		
未解決の課題 新たな課題	・新規循環バスの社会実験では、利用者アンケート等の結果から満足度も高く、公共交通への利用促進が期待できることが把握できたが、本格運行に向けて、路線バスの再編や安全性を確保するための踏切道改良、交通誘導員の複数配置等の課題も明らかになった。 ・自動車交通の抑制策(ロードプライシング)の実施に向けた法制度や課金の技術的方法、事業費の確保、実施主体等の課題について検討する必要がある。		
効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない	
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能	
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある	
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある	
	今後も市が実施すべき事業か	4. 市民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能	
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	2. 事業の方向性は適切であるが、手法は見直す必要があり、あまり貢献できていない	
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-1.今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済	○-1.既に市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要である
		協働実施済の場合のパートナー	市民、商工業者、交通事業者、関係行政機関等
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a:事業内容を見直す <input checked="" type="checkbox"/> b:事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c:事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d:他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A:予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B:予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C:予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	自動車交通の抑制策について、検討に必要な基礎調査となる交通量調査、シミュレーション、アンケート調査等が不可欠である。また、実施に向けた課題を抽出する社会実験を行う必要がある。財源確保については社会実験制度等、国・県の補助制度の活用を検討していく。
総評	・鎌倉地域の交通渋滞解消に向け、自動車交通の抑制策等の検討を継続して行っていく。 ・施策の一つである(仮称)鎌倉ロードプライシングについては、鎌倉市交通計画検討委員会でも更なる検討を行い、実現の方向性を見極めていく。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方						
-----------------------	--	--	--	--	--	--

● 事業に関する特記事項

<input checked="" type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
---	---